



# チックシベツ

## 教育目標

たくましい身体の子  
ねばり強く働く子ども  
進んで学ぶ子ども  
美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 10月号（平成30年10月19日） 【発行責任者 校長 上杉 晃弘】

## ～ 「輝く笑顔で心に残る学芸会」 いかがでしたでしょうか ～

10月6日（土）に学芸会を行いました。どの演目も三日前の児童公開日の反省が生かされ、完成度の高い発表になっていました。一年生の可愛らしさ、二年生の元気いっぱいな様子、三年生の楽しみながらの発表、四年生の細部まで工夫された発表、五年生の様々な挑戦の様子、六年生の心情に訴える発表と、それぞれ学年の個性があらわれていたと思います。御観覧いただいた方々の拍手の大きさからも喜んでいただけたと確信しています。

さて、この学芸会は何のためにあるのでしょうか？どのような教育効果があるのでしょうか？もちろん日常の学習成果の発表でもありますが、その他に、集団づくりの効果という側面があります。学級あるいは2つの学年を組んでの発表は、一人一人が協力し気持ちを合わせなければ出来上がりません。学芸会が終わった後に、集団の高まりが見られます。そして、それはその後の学習指導に良い影響をもたらせます。さらに「個」の力を伸ばす効果があります。劇などで大きな声でセリフを言い「表現」できるようになると、その後の学習の中で、それまで小さな声でしか発表できなかった子が、大きな声で堂々と発表することができたり、発表に消極的だった子がたくさん手を挙げるようになったりすることがあります。単純に声量が上がるということではなく、「気持ちを表すことへの抵抗」が無くなるということです。このことも学習効果を上げることに繋がります。

学芸会という大きな行事が終わり、二学期もあと二ヶ月ほどとなりました。学問の秋、読書の秋と言います。この後は、学芸会の成果を学習に生かしながら学校生活を送って欲しいと思います。

多くの保護者・地域・来賓の皆様にご観覧いただきました。ありがとうございました。

## ～ルスツに行ってきました！！～

9月6日（木）の北海道胆振東部地震によって中止になっていた6年生の修学旅行の代替措置ですが、10月11日（木）に6年生はルスツに無事出発しました。天候にも恵まれ、子どもたちは大いに楽しんだと思います。

素敵な思い出がたくさんできました。本当に良かったです。朝早くからの見送り等保護者の皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました。

